

宗教法人審を前に国対ヒアリング



統一協会被害者らからの聞き取りをする国対ヒアリングの議員ら。奥左端は宮本徹衆院議員=6日、国会内

訪問した女性2人から「近所で無料開運鑑定をしていました」と説かれたことが始まりでした。「何度も断ったが、根負けしないで」と罵られた。会場で高額な開運水晶を買ひまで7時間拘束された。翌年に初めて統一協会だと知りました。病気を抱えていた妻は、統一協会の物語を買えない治療できないと周辺に訴えられ、300万円の献金や200万円のネックレスなどを購入。病気は回復せず、無氣力さ

断つたが根負け

Aさん(東京都)=は、2008~13年の間、夫婦で約1000万円の献金被強制されたといいます。

統一協会信者ではないAさん(東京都)=は、2008~13年の間、夫婦で約1000万円の献金被強制されたといいます。

統一協会(世界平和統一家庭連合)への解散命令請求を怠り、政府は2010年も宗教法人審議会を開催し審議をやり直しました。審議を前に国対ヒアリングが開催されました。被強制者が協会の反社会的行為を詳細に報告しました。被強制者は、「早期に解散命令請求を出すといいや賠償のため協会の財産を保全する法整備などと求めました」。

早期解散請求権を求める

こと訴えたところ、中野容子さん(手前)と中野容子さん(奥、仮名)=6日、国会内



証言するAさん(手前)と中野容子さん(奥、仮名)=6日、国会内

し13年以降は会員への参拝。「國が法律をつくり、加をやめました。」

昨年7月の安倍晋三元首相辞職事件をきっかけに、被強制者が多くなりました。

中野容子さん(仮名)は、「母親が統一協会信者で、母親が統一協会信者に連絡し、協会へ返金で一億円の献金をしまして、野党議員から「審議会の早期解散命令請求がされねのか?」財産保全を早急にしても困るが対応していただきたい」と訴えました。

中野容子さんは、「被強制者が多くなりました。同年10月に

被強制に取り組む弁護士に連絡し、協会へ返金で一億円の献金をしまして、

野党議員から「審議会の早期解散命令請求がされねのか?」財産保全の法

整備には文化庁が主体的に取り組むのかーなどの質問が出来ました。大臣の担当者は「既時既に

の早期解散命令請求がされねのか? 財産保全の法

整備は未だ実現していない」と述べました。大臣の担当者は「既時既に

の早期解散命令請求がされねのか? 財産保全の法

整備は未だ実現していない」と述べました。大臣の担当者は「既時既に